

●里山展 木津川の花写真展 大好評

150人の芳名記入 二日目に洛南タイムスが取材に来られて木曜日に大きく報道いただきました。今回は結成20周年記念事業として取り組んできている「木津川に生育する花の写真集」に掲載予定の32種の写真を展示した。618枚から32枚の作品選定には、ずいぶん苦勞しました。事務局メンバーで618枚を総点検することになり、約2時間鑑賞して点数を入れ、総合点数の上位から選抜しました。展示ケースに入れるにも外すという作業があって、簡単なものではありませんでした。伊藤千恵子さんの大奮闘があって、翌日の展示日に間に合わせていただきました。来館者の感想では「絵はがき」にして京田辺市の環境の優れた街をアピールする道具にしてほしい、市民にもっと知らせるようにしていただきたいといった提言がありました。中にはリピータの方がかなりスマートな展示になって、非常にわかりやすくなっている、良い展示会だ、狙いが伝わる、との好評がありました。さらに希望として撮影場所、撮影者名、などの説明が加えられると親しめるのに、といったご意見をいただきました。中には写真撮影技術からの助言をいただく場面も多くありました。総じてスマートになった展示と多くの皆さんから評価がありました。この展示物は今年あらゆる場面で大いに使いまわす「価値ある作品だ」ということがわかりました。早速2月22日の勉強会 25日の西陣織会館での自然環境保全ネットワーク結成会でも、また木津川展示会、21回講演会でも大いに展示しようと思います。

●講演会講師決定 報告者も確定

第21回自然と里山講演会の「絶滅の恐れのあるカスミサンショウウオの生態について」の講師にお願いしていた松井正文先生のご都合が最終決定となりました。先生は両生類の研究家で京都府下きっての専門家でいられます。里山の会では、この折に本格的に保全に取り組む基本的なご教授をいただけるものと大変期待をしています。早くも開催の問い合わせが電話でありました。今回は京都府の自然環境保全課課長の鈴木康久氏もご出席いただけることになり、京都府が指定している「絶滅の恐れのある生き物」についてお話をお願いしています。また、京田辺市の環境課長竹村卓司さんも京田辺市の環境政策について報告をいただけることになっています。京田辺市で発見されたカスミサンショウウオの保全のために、基本的な学習会と自治体の考え方をお聞きして、細い命の系につながっている生き物の保全について学びたいと思います。大勢のご参加をお待ちしています。会場が小さく狭いので、随分と窮屈な思いをお願いすることになりますが、先着50名となっていますので、早めのご参加をお願いいたします。

●KBSラジオに「ほっかほっか嗺の朝ごはん」からの電話取材

カスミサンショウウオの発見11年目にして成虫を発見について12分間の電話取材の生放送が行われました。質問は里山の会や絶滅危惧種や絶滅寸前種などの区別と併せて、どれくらい貴重なのがか問われました。また、発見に至る経過や発見した時の様子と感激、最後のこの生き物を発見したことを今後どう生かしていくのかなどが話題になりました。この放送の録音を活かして、カスミサンショウウオの写真や風景などを使って、広く理解者を増やすことができればと、得意な長谷川さんに制作を依頼しています。できれば3月1日に行われる京都府北土木事務所主催のボランティア団体研究会の基調講演で上映してみたいと考えています。完成をご期待ください。

●打上げ会 19日(日) 14人が出席 高齢者の悩みで抱腹爆笑の連続

新年になって七草摘みや総合力が求められるマラソン大会、里山展の取組みに多くの皆さんが準備からかかわっていただきました。何よりも大変だったのは悪天候の中でのマラソン大会です。そしてその後始末、休む間もなく、里山展や木津川沿川活動団体交流会への協力と連続した大きな取り組みについて、ささやかでしたが、ご苦勞散会を開催しました。日曜日の夕方というハンディもあって小規模でし

たが、話題沸騰、抱腹絶倒の愉快的ひと時を過ごし、明日のやる気を養いました。

●23 日 堤防の植物管理の勉強会が開催

本日の事で時間はありませんが、都合のつく方ご参加ください。時間は、午後 1 時から 15 時までの予定です。場所は京田辺市中央公民館の一階研修室です。問題提起の報告は淀川河川事務所から行われます。続いて、堤防などの管理の現状、そして草刈りについての報告を山村河川レンジャーアドバイザーが行い、さらに交流会で課題を深め合います。中心に希少植物の現状を報告します。

●24 日(金)カスミサンショウウオの調査会を 10 時から実施

今回は参加者の一般募集・公募を行わないで、あくまでも調査に重点を置いて徹底的に調べ上げる予定です。いつものように桜谷先生のご指導をいただきながら、できる範囲で時間の限り広範囲に亘る調査を行います。ご参加の皆さんは長靴のほかお弁当をご持参ください。もちろん雨具や着替えもご用意をお願いいたします。里山農園教育棟を拠点基地として、できれば農園周囲も調査する計画です。アカガエルの子卵も確認できるかもしれません。

●25 日 西陣織会館で 13 時から「自然環境保全京都府ネットワーク」の立ち上げの総会とシンポジウムが開催。

この取り組みは 1 年前の里山の会第 22 回通常総会での京都府に自然史博物館の建設運動をという発言がきっかけになって、京都府自然環境保全課が京都府下の自然系の諸団体に呼び掛けて、発足に到達できました。里山の会としては大きな喜びとするところです。行き慣れていない場所ですが、ぜひともご参加ください。三日間の連続取り組みとなりますが、参加をお願いいたします。

●2016 年度イベント参加者は次の通りです

4 月:553、5 月:189、6 月:179、7 月:239、8 月:464、9 月:432、10 月:569、11 月:1278、12 月:479、1 月:138、2 月:131、合計 5645 人となっています。3 月分を残していますが、前年度より多少、少なめとなる見通しです。いよいよ年度末が迫ってきています。新年度を迎えることになります。会員各位のご希望をお寄せください。2016 年度を振り返り各位の要望を大いにお寄せいただきますようお願いいたします。新年度の活動方針は 4 月下旬の通常総会で決定いたします。ご意見要望をお寄せ下さい。

●会誌 42 号の原稿募集 間もなく始まります

仲間の広場や調査研究報告、参加感想文など大いにご応募ください。文字通り会員の交流を図る場としてご投稿をお願いします。